

令和7年
7月号

地域おこし 協力隊新聞



阿智村産業振興公社
熊谷 萌

建物の外に出るのがなんだか嫌になっ
てしまう暑さですね。いかがお
過ごしでしょうか。

私は日々の暑さに対して心身が追
いつかず、毎日新鮮な気持ちで夏の
暑さに打ちのめされています。

そんな事言っても何もできない
ので、微々たる抵抗のつもりで毎
日のようにポッキンアイスを買っ
ています。明日はなんの味にしよう
かなんて迷っているうちに、いつの間
にか日々の楽しみになってしま
した。こんな事もなんだか夏らしい
なあって思います。もし、おすすめ
のアイスや暑さ対策グッズがあれば
教えてください！よろしく願
いいたします！

本格的に夏まっさかりとなったこの頃は、きゅうりやトマトを筆頭に色とりどりの野菜が続々と公社に出荷されてきます。どの野菜もツヤツヤでみずみずしく、きれいに育っていて、ころもなしか自信と活気に満ち溢れているように見えます。とても可愛いです。ですが、そんな悠長なことを考えている間も続々と農家さんが野菜を届けてくれるので他の作業の邪魔にならないように、受け入れ場で働く公社の職員さんの横をバタバタとすり抜けて今日も野菜の振り分け作業を丁寧にも素早くできるように頑張りたいと思います。

協力隊として阿智村に来て阿智村産業振興公社さんにお世話になるようになってから2年と半年が過ぎました。協力隊として様々な経験をさせていただいた事もあり、内容がとても濃く、あつという間にすぎたように感じます。1年目のときに目指していた3年後の自分の姿にはまだほど遠い所ばかりですが、まだ半年あるので「ぎゅっ」とやりたいことをやって後悔のない卒業を迎えられたいななんて思います。



建設農林課
小田 智

阿智村の皆様、こんにちは。
今回は、ジビエに関する取り組みについて、準備をすすめている鹿肉ジャーキーのペットフード事業（以下「ジャーキー事業」といいます）について、ご紹介いたします。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、阿智村のジビエ加工施設は、清内路地区から智里東地区へ移転するため、現在建設工事が行われています（8月末完成予定）。旧ジビエ加工施設には、電気乾燥機がありませんでしたので、移転を機に電気乾燥機などを導入して「ジャーキー事業」ができるかを検討しております。そこで「ジャーキー事業」を令和7年度「地域発 元気づくり支援金」に「有害鳥獣駆除で捕獲した鳥獣の未利用部位の有効活用事業」という事業名で応募して事業実施を目指していたところ、今般採択されました。



ペットフードの鹿肉ジャーキーは、既に色々な商品が市場には出回っており、差別化は難しいのですが、前回の協力隊新聞でお伝えした鹿肉の栄養素のひとつ「トリプトファン」の摂取は人だけでなく犬たちにも有用で、「トリプトファン」を適切に摂取することで、犬の精神面を安定させて、攻撃性が低下するなど、よい影響をもたらすとの論文がございましたので、犬たちの健康に資するものを丁寧に作って、阿智村の愛犬家の皆様にお届けすることを目標の一つにしております。今後も、ジャーキー事業の詳細、進捗状況は、随時お知らせして参りますので、どうぞ宜しくお願いいたします。



阿智村産業振興公社
山田 正剛

先日、初めて地域の皆さんと草刈りに参加させていただきました。地域の一員として活動し、辻乃園さんでおいしい焼き肉をいただいで、楽しい時間を過ごし、改めて「阿智村に住んでいる」と実感することができました。下郷の皆さま、ありがとうございました。

農業研修では、りんごの摘果作業を体験しました。その際に話題になったのが、りんごの皮にできる「やぶ」です。さびは、品質や味には全く影響がありません。皮をむいてしまえば、さびのないりんごとの違いはないのですが、見た目が良くないという理由で価値が下げられ、規格外品として扱われてしまう。こういった農産物の理解が広がり、規格が見直されたいいなと思いました。

最近、きゅうりの栽培に注力しています。ぐんぐんと、勢いよく成長するきゅうりは、縦横無尽にあち

こちへ伸びていきます。そのため管理作業が欠かせません。朝夕の収穫、整枝、誘引、摘葉などに取り組んでいるのですが、いつの間にかジャンブル状態になったり、収穫で見落としたきゅうりが巨大化していたり。つと、毎日、悪戦苦闘しながら取り組んでいます。これから、しっかりと管理できるように、頑張っていきます！



阿智村産業振興公社
松浦 未洋

2025年の夏は例年に比べて猛暑とのこと。もう例年通りの猛暑といたったほうがいいような気がします。皆様におかれましては熱中症対策は万全でしょうか。十分お気を付けてください。

さて、私は4月から研修をはじめ、農機具などの基本的な使用方法や圃場について、トマト、キュウリ、パプリカなどの栽培方法を学んでいます。何もかもが初めての体験で、毎日楽しく学ばせてもらっています。刈払い機で草を刈るのもビビりながら、トラクターや管理機もまっすぐ進ませることもなかなか難しいと苦戦しています。それぞれの作物の栽培方法を学んでいます。植えるところから、誘引、余分な葉や脇芽を摘むことなど一つ一つ丁寧に扱うことを学んでいます。

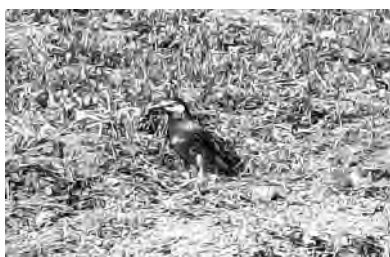
前職では学校給食にも携わっておりましたので、食の大切さなど食育の一端を担っていましたが、いまさらながらこのように丁寧に野菜が

作られていることに、改めて感謝するとともに、これまで生産者への感謝が足りなかったとひしひしと感じています。多くの人に届けられるような作物を作るために、しっかりと学んでいきたいと思っています。

☆昔から自然観察が好きで、山歩きをしながら、草木や昆虫の観察やバードウォッチングを楽しんでいます。

トラクターなどで圃場を耕すと、ムクドリやハクセキレイが後をついてきて掘り起こされる虫やミミズをついばんでいます。作業をしているときは人間も危害を加えることがないと学習しているのでしょうか。これほど近くでムクドリを観察できたことがありません。

家でも、朝にホオジロのさえずりや、子育てに奮闘中のイワツバメの元気な声を聴いてほっこりしています。鳥や虫たちとずいぶん近くなっただと日々の生活を楽しくしています。



圃場で餌をついばむムクドリ